

ふじさわ子ども読書プラン2020

第3次藤沢市子ども読書活動推進計画（素案） に対するパブリックコメント（市民意見公募）の実施結果について

「ふじさわ子ども読書プラン 2020 第3次藤沢市子ども読書活動推進計画（素案）」についてパブリックコメントを実施し、皆様から多くの貴重なご意見等をいただきました。貴重なご意見等をお寄せいただき、ありがとうございました。

期間中にいただいたご意見等に対する市としての考え方について、公表いたします。

なお、ご意見等は、趣旨を損なわないよう要約させていただきました。

1 パブリックコメントの概要

- (1) 内容 「ふじさわ子ども読書プラン 2020」第3次 藤沢市子ども読書活動推進計画（素案）について
- (2) 実施期間 2015年（平成27年）10月27日（火）～11月27日（金）
- (3) 周知方法 「広報ふじさわ」でお知らせを行い、各市民図書館、各市民図書室、市役所受付案内、市政情報コーナー、各市民センター、公民館で素案を配布するとともに、市のホームページ「パブリックコメント」に掲載しました。
- (4) 募集方法 各市民図書館、各市民図書室へ直接持参、総合市民図書館へ郵送、ファクス、インターネットによる募集を行いました。

2 実施結果

- (1) 意見等の提出人数 24名（個人22、団体2）
- (2) 意見等の総件数 86件
- (3) 意見等の内容別件数内訳

分類	件数	分類	件数
①全体について	9件	⑪ボランティア	3件
②学校図書館の充実・整備	5件	⑫本と触れ合う機会	5件
③教職員（司書教諭含む）・学校図書館専門員	11件	⑬ブックスタート	3件
④学校図書館と市民図書館の連携	3件	⑭おはなし会、ブックトーク	2件
⑤市民図書館のサービス	10件	⑮計画の推進	5件
⑥市民図書館の充実・整備	4件	⑯第2次計画について	6件
⑦市民図書館の情報提供	3件	⑰子どもの貧困問題	3件
⑧市民図書館職員の研修	1件	⑱誤字脱字指摘	1件
⑨図書館以外の場所	7件	⑲その他	2件
⑩子どもの身近にいる大人	3件	合計	86件

①全体について（9件）

意見の概要	市の考え方
<p>1 計画素案の冊子が読みやすかった。あまり本を読まない中学2年生の息子にも見せたところ、このような計画があることを知る機会があれば、意識が変わるかもしれない、と言っていた。</p>	<p>今後策定予定の計画案（以下「計画案」という。）に反映しました。</p> <p>第3次計画では、第2次計画策定時と同様に計画概要版を作成し、幅広く配布することを予定しています。本市は今後、第3次計画によって子どもの読書活動についての資料収集や情報提供を充実させるとともに、計画自体の周知を図ります。ご意見を踏まえ、計画の周知に努める旨を計画案に追記しました。</p>
<p>2 この計画素案は読むのに時間がかかる。これがわかりやすくなれば、ボランティア等に携わらない市民でも、子どもの読書活動を推進すべきという共通認識を得ることができるのではないか。</p>	
<p>3 このような計画があることを初めて知った。子どもたちのためにとっても良い計画だと思ったが、実際の生活の中では計画が推進されている実感がない。</p>	
<p>4 子育て中も図書館をよく利用していたが、計画が身近なものではなかった。</p>	
<p>5 この計画は素晴らしく、ぜひとも進めてもらいたい。もっと身近なところで取り組みを実感できるようにしてほしい。</p>	
<p>6 子どもたちの本への興味、読書の楽しみがもっと強くなるように活動してほしい。大きな活動よりも小さな活動を多く行い、どの子も活動を体験できるようにしてほしい。</p>	<p>ご意見の趣旨をすでにパブリックコメント実施時の計画素案（以下「計画素案」という。）に位置づけています。</p> <p>本市は、さまざまな活動を通して、第3次計画の基本理念「すべての子どもが本に親しむことができるまち ふじさわ」の実現を目指します。</p>
<p>7 「すべての子どもが本に親しむことができるまち ふじさわ」は、素晴らしい基本理念だと思う。</p>	
<p>8 子どもたちにとって読書は大切である。子どもたちが読書に親しむことのできる機会や環境の整備を充実させていただきたい。</p>	
<p>9 この計画に基づく取組を通して、子どもたちにとって本がさらに身近なものになっていくとよい。</p>	

②学校図書館の充実・整備（5件）

意見の概要	市の考え方
<p>10 学校図書館は子どもにとって本と触れ合う最も身近な場であると思う。学校図書館の一層の充実をお願いする。</p>	<p>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</p> <p>第3次計画では、「魅力ある利用しやすい学校図書館の整備・充実」を施策の柱の一つとしており、学校図書館の一層の整備充実を図ります。</p>
<p>11 市民図書館による学校図書館への団体貸出や、リサイクルブックの提供はとてもありがたいのだが、学級文庫の本までは満たすことができない。学級文庫用の資料費を予算措置してほしい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>第3次計画では、各小・中学校の学校図書館が活動を展開する上での基本的な考え方である「藤沢市立学校図書館運営指針」（第2期計画期間中に策定済み）に基づき、子どもが本にふれる機会の拡充を計画的に図ることとしています。</p>
<p>12 学校図書館の資料費を増額してほしい。</p>	<p>学級文庫の充実や、学校図書館の資料費の増額については、各学校がそれぞれの実情を踏まえて個別に対応します。</p>
<p>13 市教育委員会の学校図書館担当者が数年で異動してしまうため、継続した指導、助言を受けることができない。他自治体のように「学校図書館支援センター」等を設置して、市全体の学校図書館運営を指導する専任職員を配置してほしい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>学校図書館支援センターについて、現時点で具体的な設置予定はありません。</p> <p>第3次計画では、学校図書館のあり方に関する研究を行うことを予定しています。ご意見はこうした研究の中での参考とします。</p>
<p>14 学校図書館の電算化を進めてもらいたい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>現在、学校図書館の電算化は実施していません。第3次計画では、学校図書館のあり方に関する研究を行うことを予定しています。学校図書館の電算化については、将来的な課題であると認識しています。</p>

③教職員（司書教諭含む）・学校図書館専門員（11件）

意見の概要	市の考え方
<p>15 学校図書館専門員が週2回勤務することによって、学校図書館の雰囲気は大変良くなった。図書館に人がいることの必要性を強く実感しているので、週4日の勤務としてもらえないか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>学校図書館専門員の勤務日数については、人員や予算の制約があるため、現時点では具体的な拡大予定を明示することができません。</p> <p>第3次計画では、各学校の実情を踏まえて、司書教諭の校務分掌の整理、学校図書館支援ボランティアの受入拡大等の取組を行うことを通して、「学校図書館に人がいる」時間をできるだけ長くするようにします。</p>
<p>16 学校図書館専門員の週5日勤務のための予算化をお願いしたい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>司書教諭の人事権は本市ではなく神奈川県にあるため、本市の判断で司書教諭の専任化を行うことが制度上できません。県への要望を進めます。</p>
<p>17 計画素案56ページにもあるが、司書教諭の専任化を要望したい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>司書教諭の人事権は本市ではなく神奈川県にあるため、本市の判断で司書教諭の専任化を行うことが制度上できません。県への要望を進めます。</p>
<p>18 司書教諭の専任化を県に要望するだけでなく、藤沢市として司書教諭の専任化を進められないのか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>学校図書館の運営については、司書教諭、学校図書館専門員、学校図書館支援ボランティアが協力して担うものと考えています。</p> <p>第3次計画では、学校図書館のあり方に関する研究を行うことを予定しています。ご意見は、こうした研究の中での参考とします。</p>
<p>19 退職した教師（司書教諭でない場合は研修受講）が現役の司書教諭や学校図書館専門員と協力して、学校図書館の運営に関わっていくようにしてはどうか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>学校図書館の運営については、司書教諭、学校図書館専門員、学校図書館支援ボランティアが協力して担うものと考えています。</p> <p>第3次計画では、学校図書館のあり方に関する研究を行うことを予定しています。ご意見は、こうした研究の中での参考とします。</p>
<p>20 学校図書館に学校図書館専門員が配置されたことの意義は大きい。また、ほとんどの小学校で朝読の時間にボランティアが入り、読み聞かせや朗読をしていることは効果的である。年度初めに保護者を対象とした学校図書館専門員や司書教諭による読み聞かせの講習会があるとよい。子どもを取り巻く保護者・教師・司書の連携のきっかけになる。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>現在、学校図書館専門員や教職員（司書教諭を含む）による講習会は行っていません。ご意見は今後の事業を検討する上での参考とします。</p>

意見の概要	市の考え方
21 教員向けの研修については、単発で終わるのではなく、藤沢市の学校図書館の充実を見据えた内容とするべきである。	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>司書教諭を含む教職員の研修について、第3次計画では効果的な読書指導を行うための研修機会等の確保を検討して、教職員の研修への参加を働きかけることとしています。研修内容についてさまざまな意見があることを踏まえて、水準の向上に絶えず努めるようにします。</p> <p>司書教諭と学校図書館専門員の合同研修会の実施についてのご意見は、学校図書館の今後のあり方を検討する上での参考とします。</p>
22 司書教諭と学校図書館専門員の連携を一層強化する必要があると思う。司書教諭の研修会を行い、学校図書館専門員と合同の研修会を定期的に関いていくべき。	
23 しっかりした内容の司書教諭としての研修会を定期的に行うべきである。	
24 校務分掌図に司書教諭の位置付けを明記して、司書教諭の有資格者が実際に学校図書館の運営に関わることができるよう、全教職員に周知する必要がある。	<p>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</p> <p>第3次計画では、司書教諭が学校図書館の職務を円滑に行うことができるよう、校務分掌の整理に努めます。</p>
25 司書教諭が学校図書館の仕事をするための時間の確保が必要である。	

④学校図書館と市民図書館の連携（3件）

意見の概要	市の考え方
26 市民図書館が遠い子どもにとっては、市民図書室が身近な存在であり、学校の調べ学習に必要な本を探すのに最適である。小学校と市民図書室が連携して、市民図書室が授業に必要な資料についての情報をあらかじめ入手し、十分な量の資料を揃えるようにしてはどうか。	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>学校の調べ学習で用いる図書については、市民図書館（室）よりも学校図書館で対応できる環境を整えることを重視しており、学校図書館の蔵書の充実にも努めることとします。</p> <p>ただし、学校図書館と市民図書館との間での情報共有等により、市民図書館（室）でも子どもたちが求める資料の把握と収集に努めるようにします。</p>
27 市民図書館は積極的に学校図書館や学校図書館専門員を応援してほしい。	<p>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</p> <p>市民図書館は引き続き学校図書館への支援事業に努めます。</p>
28 市民図書館と学校図書館を結ぶ配送システムの構築が必要である。	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>配送システムの構築について、現時点で具体的な予定はありません。第3次計画では、学校図書館のあり方に関する研究を行うことを予定しています。ご意見はこうした研究の中での参考とします。</p>

⑤市民図書館のサービス（10件）

意見の概要	市の考え方
<p>29 小・中・高校の図書室や保健室に市民図書館の図書カード申請書が常備してあるなど、子どものすぐ目に付くところにあり、手に取ってもらえることが大事。勧める人がいることが大切である。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>市民図書館の利用を勧める人がいることが大切ということについては、ご意見のとおりと考えます。第3次計画では、市民図書館と各学校が連携を密にして、児童・生徒の市民図書館利用が円滑に行われるように努めます。</p>
<p>30 小学1年生を対象としたリーフレット配布はともよい。 以前、リーフレットに挟み込まれている図書カード申請書を鉛筆で記載して提出した親子に対し、図書館職員がペンでの書き直しを求めているケースに遭遇した。職員は規定を守ったままでしょうが、子どもは図書館をどう感じるだろうか。申請書について検討していただきたい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>リーフレットや図書館カード申込書の表記については、できるだけわかりやすくなるように絶えず見直しを行います。</p>
<p>31 先日、テレビで「読書通帳」を導入した図書館の事例が紹介されていた。予算があるならばよい考えだと感心した。 企画力も大切である。例えば埋もれている本に光を当てる趣旨で、図書館同士で資料を融通して個性的なフェアを行ったり、図書館ツアーをもう少し増やしてはどうか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>第3次計画では、他の自治体で行われている取組等も参考にしながら、子どもたちが本に出会い、読書に親しむことができるようにさまざまな取組を実施することについて検討します。</p>
<p>32 幼い頃から父母と一緒に図書館で読書を楽しんだ子どもは、小学生になると1人で図書館に行くようになる。しかし、近所に図書館が無いと頻りに図書館に通うことが難しいし、図書館に行ったとしても、幼い子を連れて重い本を持ち歩くのは子育て中の母親にとって大変である。図書館を新設するには莫大な費用がかかるので、返却ポストをたくさん設置してはどうか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>返却ポストの整備について、現時点で具体的な予定はありません。第3次計画では、市内どこでも利用しやすい図書館サービスの実施に引き続き努めていきます。 また、子どもと保護者が日常的に利用できる身近な施設を読書の場として活用できるよう、各施設における図書資料等の整備に努めます。</p>
<p>33 計画素案59ページの事業59（さまざまな子どもへの児童サービス）を拡充することは良いと思う。</p>	<p>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</p> <p>第3次計画では、すべての子どもが読書に親しむことができるような環境を整備する上で、事業59によって困難を抱えがちな子どもの状況に十分配慮することが必要と考えています。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>34 市民図書館の職員が地域のボランティアと協働して市内全域の保育園や小学校に出向き、定期的におはなし会やブックトークを行ってはどうか。また、市民図書館が学校で不足しがちな分野の本を定期的に貸し出すなど、学校図書館への援助強化を行ってほしい。</p> <p>このほか、調べものコンクール等への参加により、公共図書館を利用するきっかけづくりを行ったり、調べものに役立つパスファインダーを作成したり、学校図書館専門員と図書館スタッフとの交流を盛んにするべきである。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>ご提案については、今後の事業を検討する上での参考とします。</p>
<p>35 図書館だよりやYA通信について、多くの人に読んでもらえるようにリニューアルしてはどうか。また、市民図書館でツイッターを行ったり、家庭でインターネットを利用できない子ども向けにインターネットを利用できる場を与えてはどうか。</p> <p>地域の中学生からYA通信の編集委員を募り、一緒に編集したり、YA向けイベントの企画を行ってはどうか。</p> <p>おはなし会ボランティアの育成が必要である。日々魅力ある蔵書構成に留意して、手に取ってもらえるような展示を行ってはどうか。</p>	
<p>36 特別な支援が必要な子どもへの接し方や、読書支援方法についての職員向け研修機会の充実を希望する。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>特別な支援を要する子どものためのサービスは、今後さらに重要になると見込まれることから、第3次計画では、市民図書館の職員に対する研修を行い、専門性や意識の向上を図ります。</p>
<p>37 以前、移動図書館が地域を巡っていたが、復活させることはできないか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>38 インターネット、スマートフォン、タブレットが子どもたちの周りであふれている時代なので、絵本の大切さ、読書の大切さについて、子どもを持つ保護者に伝えていけたらよいと考える。絵本に興味のある保護者向けに、気軽に絵本を借りることのできる場があるとよい。図書館以外でも、子育て支援センターやつどいの広場等に移動図書館が来てくれるシステムができるとよいのでは。</p>	<p>移動図書館の復活について、現時点で予定はありません。第3次計画では、子どもと保護者が気軽に利用できる場として、今後も市民図書館（室）による市内どこでも利用しやすいサービスの実施に努めます。</p> <p>また、地域の子どもに関わるさまざまな施設も子どもの読書活動の場として活用できるように、図書資料の整備等に努めます。</p>

⑥市民図書館の充実・整備（4件）

意見の概要	市の考え方
39 中学生向け科学図書、高校生向け工業書籍を大量に購入してほしい。	貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。
40 児童図書・家庭画報を市民図書館から公民館の図書室に移管できないか。	市民図書館の資料については、図書館の資料収集の考え方を明示した「藤沢市図書館資料収集方針」（2009年（平成21年）策定）に沿って引き続き適切な資料収集等に努めます。
41 劣悪図書や、陳腐化書籍については、すみやかに廃棄するべき。	本市では、市内のさまざまな場において、子どもが本に親しむことのできる環境の整備を目指しており、児童図書は市民図書館にも必要な資料だと認識しています。 市民図書館の図書の充実については、推進に努めます。
42 図書館のじゅうたん敷きのスペースが狭い。親子連れが利用しやすく、たくさんの親子が本に親しむことのできる図書館になるとよい。	貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。 第3次計画では、親子連れが利用しやすい市民図書館となるように、引き続き施設・設備の充実を図ります。 じゅうたん敷きのスペースについてのご意見は、今後新たに施設を整備にする際の参考とします。

⑦市民図書館の情報提供（3件）

意見の概要	市の考え方
43 自治会の回覧板に図書館だよりを入れてもらってはどうか。	貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。
44 図書館だよりは年3～4回発行されているが、毎年ほぼ同じ内容の特集が組まれがちである。図書館だよりは図書館唯一の広報紙なので、もう少し積極的に編集を行い、この計画の推進にも役立つ内容にすることもできるのではないだろうか。	「図書館だより」は本市図書館の取組をPRする重要な媒体であり、今後も活用に努めるつもりです。ご意見を参考に、「図書館だより」の内容の充実を目指して取り組みます。
45 藤沢市では、「おひざのうえのおはなし会」やパパによる読み聞かせなど興味深い取組が行われているのに、他の子ども関連施設に取組の情報が伝わっていない。積極的なPRを期待する。	ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。 第3次計画では、地域の子どもの関わる施設・団体等の協力により、市民図書館の利用案内等の情報提供を行うようにします。今後、市民図書館と子ども関連施設・団体との連携を強化して、市民図書館の事業の情報を積極的に伝えるように努めます。

⑧市民図書館職員の研修（1件）

意見の概要	市の考え方
<p>46 図書館の職員の研修の機会をできる限り設けてほしい。職員は誰しも向上心を持っているはず。漠然とした内容ではなく、具体的な内容の研修が必要。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>市民図書館の職員向けの研修については、可能な限り機会及び内容の充実を図るようにします。</p>

⑨図書館以外の場所（7件）

意見の概要	市の考え方
<p>47 小さな子どもにとっては、大きくて大人が多い図書館よりも、地域家庭文庫や図書室の方が行きやすいと思うので、その存在をもっと知ってもらえるとよい。文庫や図書室で本に親しんだ子どもは、やがて行動範囲が広がって図書館を利用するようになると思う。</p>	<p>計画案に反映しました。</p> <p>市民図書室や文庫等の地域の小規模な施設を周知することの必要性については、ご意見のとおりと考えます。第3次計画では、「地域の子どもに関わる施設・団体等における読書環境整備と協力連携体制の推進」を施策の柱の一つとして、事業を展開します。ご意見を踏まえ、計画案の計画推進のための地域の役割にかかる記述について、地域のさまざまな施設が子どもの読書活動を支える場である旨を追記しました。</p>
<p>48 つどいの広場等の図書が充実するように支援してほしい。</p>	<p>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</p>
<p>49 計画素案を読んで、読書に出会う初めての場所としての子育て支援センターの役割の重要性を感じた。</p>	<p>第3次計画では、「つどいの広場」等の子育て支援事業を活用して子どもの読書活動の啓発を行うとともに、地域のさまざまな施設の図書資料の充実にも努めます。</p>
<p>50 現在行われている市民図書館が子育て支援センターに図書を送る取り組みは、今後も続けていただきたい。最近、食事前に読み聞かせが行われており、好評である。できれば月1回でも子育て支援センターにて読み聞かせをしていただけないか。</p>	<p>「子育て支援センター」における読み聞かせについては、今後も継続に努めます。市民図書館からの支援については、ご意見を参考に今後検討します。</p>
<p>51 子ども関連施設の職員の研修等への参加が必要。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>地域のさまざまな施設での子どもの読書活動を推進する上で、子ども関連施設の職員に対する啓発は重要なものと考えます。ご意見を参考に、子ども関連施設同士が連携を深める中で、情報共有を図り、相互に研修機会等を提供する仕組みを検討します。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>52 計画素案第3章に挙げられている項目はどれも大切である。子どもが小さい時から大人に本を読んでもらうことの心地良さ、楽しさを知ってもらい、「聴く」「聞く」かも育んでいければよい。図書館と保育園が協働した取組ができればよいと思う。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>第3次計画では、市民図書館と保育園など地域の子どもの関わる施設・団体等の連携を強化します。それぞれの施設・団体等での日常的な協働の取組については、ご意見を参考に検討します。</p>
<p>53 読み聞かせに苦手意識を持つ母親もいる。上手に読もうとしなくても、母親の声を聞かせるだけで十分であることや、読み聞かせのポイントやコツを母親に知らせる機会があればよいと思う。子育てひろばで母親に読み聞かせをしてもらうことなども、読み聞かせに親しむきっかけになるかもしれない。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>第3次計画では、保護者向け読書相談や、地域の子どもの関わる施設・団体等でのおはなし会の充実に努めます。また、大人を対象とした子どもの読書活動に関する講演会等の事業も実施することとしています。</p> <p>今後とも、多様なニーズを踏まえるとともに、ご意見の趣旨も参考にしながら、実施事業を検討します。</p>

⑩子どもの身近にいる大人（3件）

意見の概要	市の考え方
<p>54 保護者向けに絵本についてのミニ講演会（選び方や読み聞かせのポイントについて）を開催したり、子ども向け新着図書を紹介する冊子・パンフレットを作成してはどうか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>第3次計画では、「読書に親しむための人づくり」を施策の柱の一つとして、子どもの周囲の大人に対する取組も位置づけています。ご意見については、今後の事業を検討する上での参考として、子どもの周囲の大人に対する情報提供に努めます。</p>
<p>55 「すべての子どもが本に親しむことができるまち」の実現のためには、ほぼ全員の子どもが対象の学校図書館やブックスタートなどの読書環境づくりが重要。学校図書館では、司書教諭が専任で配置され、司書教諭を中心に学校図書館専門員やボランティアが情報交換できる環境を整える必要がある。また、親や学校関係者のほかに、高齢者が子ども（孫）たちに読書の楽しさを伝える機会が増えている。全ての世代の人が読書の楽しさを子どもに伝えられるような環境、機会を増やすべきである。</p>	

意見の概要	市の考え方
<p>56 子どもたちは本を読んでもらうことが大好きであり、温もりのある触れ合いが子どもを安心させる。このことを子どもの母親に伝えられるような取組が必要。母親自身が読み聞かせを経験していなかったり、有効性を理解せずに面倒だと感じている様子が見受けられるので、働きかけが必要。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>第3次計画では、「計画推進のための各主体の役割」の中で子どもの読書に関する家庭の位置づけや心がけを提示しています。市は今後、保護者や子どもの周囲の大人に対して、子どもの読書活動についての理解を深めることができるよう、さまざまな事業を通して啓発に努めていきます。また、ご意見を参考にしながら、具体的取組についても検討します。</p>

⑪ボランティア（3件）

意見の概要	市の考え方
<p>57 計画素案の内容を実際に推進していくために、学校や施設、地域へ実際に足を運んで状況を把握できるボランティアや、統括できる役割の人はいるのか。人数は充足しているのか。こうしたことを日々の仕事の合間に進めていくのは大変だと思う。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>現在、藤沢市内では地域のさまざまな場でボランティアが活動しており、市の特定の部署がこうしたボランティアを一律に統括することは困難という実情があります。</p> <p>第3次計画では、「地域での読書活動を支える人材の育成と協力連携の推進」を施策の柱の一つとしています。ボランティアについては、受入体制の整備等に努めるとともに、施設・団体相互の連携により、養成、研修、活動支援を図ることとします。</p>
<p>58 学校でのボランティアをやりたいという人は意外といえるのではないかと。以前はボランティアになる方法がなかったが、その後どうなったのだろうか。やる気のある人がタイミングを逃すともったいない。学校では無理ならば、別の受け皿を紹介できるようになればよいと思う。</p>	
<p>59 読み聞かせのボランティアに関わっているが、養成支援や連携が不足していると感じる。</p>	

⑫本と触れ合う機会（5件）

意見の概要	市の考え方
<p>60 保育園の年長児クラスが、ほぼ毎月、図書館のおはなし会に参加している。おはなし会も楽しみだが、図書館で本を借りることをとても喜んでいる。また、園で図書館に行くという経験が子どもから大人に伝わり、家庭へと広がっている面もあり、子どもへの働きかけが有効だと思う。ブックスタートやおはなし会など、乳幼児期から本や図書館が身近になる活動は今後も大切にしていきたい。</p>	<p>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</p> <p>乳幼児期から本や図書館が身近になるための活動を大切にすることについては、ご意見のとおりと考えます。本市としては、第3次計画に基づいて、乳幼児が本と触れ合う環境の整備を目指します。</p>

意見の概要	市の考え方
<p>61 ブックスタート定着は何よりも重要だと思う。YAの時期は本離れするだろうが、乳児～幼稚園・小学生で本に親しんでおけば、いずれ本の世界に戻って来ることが期待できる。また、ブックリストを重要な手段として位置づけているようだが、もう少し魅力ある、親しみやすいものにしてはどうか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>第3次計画では、乳幼児向けブックリストを保護者等に配布することを通して、子どもの読書活動に関する情報提供を行うこととしています。ブックリストの内容については、必要に応じて見直しを行います。</p>
<p>62 第2次計画と比べて読みやすかった。「子どもたちにとってかけがえのない1冊の本との出会い」という基本理念が多くページに表現されていたと思う。「家庭読書の日」を藤沢市独自のやり方で設けて、幼い頃から本の楽しさ、喜びを身近に感じることのできる環境づくりをするために各関係機関が協力し合うことが必要であり、その上でこの計画に掲げているような取組を少しずつ行っていくことが必要ではないか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>神奈川県では、毎月第1日曜日を「ファミリー読書の日」としています。本市では、一律に「読書の日」を設けるのではなく、各家庭なりに自由な形で工夫を行い、取り組むことを促しています。なお、市民図書館や学校、地域の子ども関連施設では、「子ども読書の日」や「読書週間」等に合わせて行事を実施しています。</p> <p>幼い頃から本の楽しさ、喜びを身近に感じることのできる環境づくりのために、各施設・団体等が協力することが大切ということについては、ご意見のとおりと考えます。今後、関連する各施設の連携・協力を努めるようにします。</p>
<p>63 中学生・高校生期の子どもに対しては、行事を企画してもなかなか人が集まらない。部活動や勉強で忙しいYA世代へのアプローチの仕方、具体策が盛り込めるとよいと思う。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>第3次計画では、中学生・高校生期の子どもに対して、発達段階に応じた本の紹介や市民図書館での職場体験等の受入等の取組を実施します。</p> <p>中学生、高校生が多忙な生活を送っているため、アプローチが困難という点については、ご意見のとおりと考えます。今後、効果的なアプローチの方法を検討していきたいと考えます。</p>
<p>64 本が嫌い、苦手な子は、なぜ読まないといけな いのか、何が面白いのかがわからないのだと思 う。幅広い分野に詳しいコンシェルジュのよう な図書館職員がいて、読書のきっかけとなる本 をじっくり選んでくれるのであれば、相談して みようと思うのではないか。</p>	<p>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけて います。</p> <p>子どもに読書習慣を定着させるという点で、ブックリストの配布に加え、図書館職員による本の紹介が効果的であると考えられます。第3次計画では、市民図書館における読書相談の充実を図る予定です。ご意見を参考に、引き続き、職員の能力向上に努めます。</p>

⑬ブックスタート（3件）

意見の概要	市の考え方
<p>65 三歳児、四歳児の誕生日に、優良絵本を一冊ずつ誕生祝いとしてもれなく贈呈送付する。幼児期から座右の書を持つ習慣をつけるようにしてはどうか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>66 ブックスタートの主旨をきちんと知ってもらいたい。健診の際に本を読んでもらう取り組みはとてもよいと思うのだが、せっかくの読み聞かせを疲れた状態で受けることになり、申し訳ないという意見もある。例えば、引換券を渡して、都合のよいときに子育て支援センターを利用してもらうようにしてはどうか。</p>	<p>ブックスタート事業については、全ての子どもを対象に絵本を手渡すことができる最初の機会として、集団健診である1歳6か月児健診の機会を活用することの意義が大きいと考えています。ただし、健診時の親子の状況を踏まえ、希望者には必要に応じて後日図書館等で読み聞かせや絵本の配付の対応を行っています。当面はこの形式での事業実施を予定していますが、今後も臨機応変な対応をとるようにします。</p>
<p>67 ブックスタート事業で配付された絵本が転売されていると聞いたことがある。1歳6か月児の親が既に絵本に関心を持っていないのだとすれば、ブックスタート事業の対象年齢をもっと早めてもよいのではないか。健診後は親子とも疲れて早く帰りたいと思っている人も多く、とてもよい事業なのにもったいない。</p>	<p>このほか、各種保健事業などさまざまな機会や場所を活用した啓発等についても、引き続き検討していきます。</p>

⑭おはなし会、ブックトーク（2件）

意見の概要	市の考え方
<p>68 本を読まない理由に「読みたい本がないから」という回答があった。図書館などでブックトークを行い、子どもが読みたいと思える本との橋渡しをしてほしい。また、数ある本の中から自分で本を選ぶ楽しさを伝えてほしい。</p>	<p>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</p> <p>第3次計画では、市民図書館でブックトークやおはなし会等子どもが本に親しむためのきっかけづくりに取り組みます。</p>
<p>69 第1次、第2次計画を経て、乳幼児とその保護者へのサービス（ブックスタート、おひざのうえのおはなし会等）、小学生期の子どもへのサービス（おはなし会、ブックリスト、ブックトーク等の行事）ともに充実してきたと思う。特に、おひざのうえのおはなし会は好評である。</p>	<p>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</p> <p>おはなし会については、乳幼児が読書に親しめる機会として重要な機能を有していることから、第3次計画でも市民図書館を中心に引き続き事業を実施します。</p>

⑮計画の推進（5件）

意見の概要	市の考え方
<p>70 計画の内容を初めて知った。策定以来 10 年を経て前進していることを感じる。次の5年間で実現することの具体的な目標を立ててから進めてもらいたい。</p>	<p>ご意見の趣旨をすでに計画素案に位置づけています。</p> <p>第3次計画では、策定に当たって、現行計画の検証、社会情勢等から見えてきた課題等を整理し、4つの「重点項目」を設定しています。この重点項目を踏まえて実施事業を見直し、4つの「目標」、9つの「施策の柱」、37の「施策の展開」を設定しました。さらに、今後実施予定の具体的取組について、事業ごとに明示しています。計画期間においては、具体的取組を通して、「目標」の実現を目指します。</p>
<p>71 推進会議の議事録の公開について、どうなっているのか知りたい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p>
<p>72 藤沢市子ども読書活動推進会議を開催する案に賛成。現場で子どもたちと関わって活動している人達の参考になると思われるため、この会議にブックスタートボランティアやお話ボランティア、学校図書館専門員の参加（傍聴で構わない）をお願いしたい。</p>	<p>「藤沢市子ども読書活動推進会議」は、庁内における関係課の担当者による会議です。会議結果については、藤沢市情報公開条例に基づく情報公開の対象となっています。</p> <p>会議結果の公表や、ボランティア・学校図書館専門員等への報告については、ご意見を参考に今後検討していきます。</p>
<p>73 第1次計画、第2次計画に引き続き、今回も関係部署が行うべき施策が連ねられているが、形骸化していないだろうか。施策として至極当然の事項が多く（大切なものかもしれないが）、新鮮な施策が目につかないと思う。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>第3次計画の進捗状況については、「藤沢市子ども読書活動推進会議」を効果的に活用して、把握・検証することとしています。なお、施策は計画期間内においても必要に応じて見直しを行います。</p>
<p>74 今回の計画では乳児・幼児家庭への取り組みに力が入れており、計画の深まりを感じた。だが、計画が深まっても、どのように達成されているかの検証が大事と思われる。</p>	

⑩第2次計画について（6件）

意見の概要	市の考え方
75 第2次計画の事業17がA評価であることに疑問を感じる。学校図書館運営指針は作成されたようだが、まだ各学校に温度差があるようなので、BまたはC評価が妥当ではないか。	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>第2次計画においては、司書教諭等の研修や学校図書館協議会（SLA）、藤沢市小学校教育研究会等の情報共有に努めました。藤沢市教育文化センター、SLA等による研修や情報交換会を実施してきたという結果を踏まえ、事業17をA評価としました。</p> <p>第3次計画においては、事業評価の明確化に努め、司書教諭等への研修や、県に対する司書教諭専任化の要望等を行っていきます。</p>
76 第2次計画の事業17がA評価となっているが、司書教諭の専任化が実現していない現状では評価はCではないか。学校図書館のより一層の充実を望む。	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>ご意見の趣旨については、基本方針2でも位置づけています。</p> <p>司書教諭の専任化については、司書教諭の人事権は本市ではなく神奈川県にあるため、本市の判断で行うことが制度上できません。県への要望を進めます。学校図書館専門員の勤務日数については、人員や予算の制約があるため、現時点では具体的な拡大予定を明示することができません。</p> <p>第3次計画では、各学校の実情を踏まえて、司書教諭の校務分掌の整理、学校図書館支援ボランティアの受け入れ拡大等の取組を行うことを通して、「学校図書館に人がいる」時間をできるだけ長くするようにします。</p>
77 第2次計画の事業17の評価について、司書教諭対象の研修機会の充実とあるが、実際には行われていなかったと思う。司書教諭の専任化についても県への要請のみで、状況が一向に改善されていないと思う。A評価の理由がよく分からない。	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>本市としては、第2次計画を上回る成果を挙げることができるよう、今後第3次計画に基づいて取組を進めるつもりです。</p>
78 計画素案25ページの基本方針3の「評価と今後の課題」について、学校図書館の充実のための課題として「司書教諭と校内の緊密な協力・連携体制の確立と司書教諭の専任化、そして学校図書館専門員の常駐と司書教諭との協力・連携」を入れてほしい。	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>第2次計画の評価は、「施策の展開方向」毎に計画と実績を照らし合わせて行いました。</p> <p>第3次計画では、評価の一層の明確化とともに、事業の積極的な推進を図ります。</p>
79 第2次計画の評価がとてもよい。今後もこのまま行くのがよいと思う。	
80 第2次計画の評価と、実際に子どもと本に関わる者の実感に隔たりがあるように思う。地域での活動の中でも、計画の推進が実感できるものではない。	

⑰子どもの貧困問題（3件）

意見の概要	市の考え方
<p>81 「子どもの読書活動をめぐる状況」のところで、子どもの貧困問題が取り上げられており、現在の社会をよく把握されていると思う。しかし、この問題に図書館等がどんな施策をとればよいのかわからない。この問題に関して公共図書館としてもできることがあるのではないか。それを早急に検討しなくてはいけないのではないか。計画期間中にプランを練るといふことなのだろうか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>子どもの貧困問題に関して、市民図書館としてもできることを検討するべきという点については、ご意見のとおりと考えます。</p> <p>サービスの利用が制約されがちな子どもとその保護者に対しては、市民図書館と学校図書館やその他関連施設等との連携を強化して、必要に応じて支援を行います。</p>
<p>82 子どもの読書環境は、家庭・学校・地域が連携して整えていく必要がある。読書が確実に生活の一部に入っている子どもたちが数多くいる一方で、支援が届きにくい子どもたちがいるのが現状である。図書館でできることがあれば、早急にもっと具体的に行動していかなければならないと思う。そのためにも、学校図書館への支援は必須である。また、読書や情報の環境に恵まれない子どもたちに、いろんな体験を提供できる場としての公共図書館のあり方も考えていけたらよいと思う。</p>	
<p>83 子どもの貧困について、大変気になっている。図書館は無料で利用できる施設であるから、貧困対策に有効な手段となることを期待している。</p>	

⑱誤字脱字指摘（1件）

意見の概要	市の考え方
<p>84 計画素案 24 ページの5つ目の〇の3行目について、図書館（室）ボランティアとブックスタートボランティアの交流会が行われているように読みとれるのだが、実際に行われているのか。これは「図書館（室）ボランティア連絡会やブックスタートボランティアの交流会が・・・」の誤りではないか。</p>	<p>計画案に反映しました。</p> <p>実際には、「図書館・図書室おはなし会ボランティア交流会連絡会」と「ブックスタートボランティア交流会」が別々に行われています。しかし、計画素案の該当箇所は「図書館（室）おはなし会ボランティアとブックスタートボランティアとの交流会が行われている」と読み取ることができます。</p> <p>ご指摘を踏まえ、該当箇所の記述を「図書館・図書室おはなし会ボランティア交流会連絡会やブックスタートボランティア交流会を定期的を開催して」と変更します。</p>

①9その他（2件）

意見の概要	市の考え方
<p>85 パブリックコメント実施を感謝するが、ボランティアにとってこの時期は読書週間であり忙しい。10月頃に意見公募について知らせていただき、公募期間を2か月は確保してほしい。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>ご意見は次回の計画策定の際の参考とします。なお、本市全体として、パブリックコメントの期間は原則として1か月間としています。</p>
<p>86 藤沢市が乳幼児期からヤング世代まで幅広い年齢層に対してさまざまな取組を通じて働きかけを行っていることがよくわかった。それにもかかわらず読書離れの傾向が止められないのは、社会全体の読書離れを反映したものに他ならない。電子媒体の利用が思ったより多いが、本と電子媒体を併せて「読書」と捉えれば、まだ何かできることがあるのではないかと思う。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の取組の参考にさせていただきます。</p> <p>電子メディアについては、従来の「本」と類似する「電子書籍」としての一面や、ソーシャル・ネットワークワーキング・サービス（SNS）のように人と人とのコミュニケーションの手段として用いられる面など、多様な形態が見られます。</p> <p>今後、電子メディアの子どもの読書活動への影響を考慮しながら、効果的な活用方法について検討します。</p>